



## 天地自然の理に従って

天地自然の理に従って生きるとは、どこまでも調和をめざして、不断に変化生長していくことです。

調和というのは、すべての存在が活きる道のこと、誰かが得をすれば誰かが損をするとか、人間の都合で他の生命が犠牲になったりするものではありません。

変化生長するというのは、簡単に言うと、経験から学ぶことです。例えば、福島第一原子力発電所における原発事故は、日本にとって、その経済的損失、健康被害、そして環境破壊は、今後長期にわたって大きな影響を残します。それでも私たちは前に進んでいかねばなり



那賀川 杉本 博さん

ません。ところが、政治家をはじめ、多くの国民は話題にすることすら避けています。何かといえば「問題ありません」としか言わない。まるで変化生長することを拒否して思考停止状態に陥っているかのようです。私たちは病になれば、考え方を改め、生活スタイルを変化させます。それが出来なければ自滅です。

日本再生の道は、放射能には閾値が無く、どこまでも危険であるという事実を受け止めて、今までの経済優先的考えを改め、次の世代

のために全力で対策をするように変化しなくてはなりません。それが天地自然の理に従うということであり、大切な私たちの子どもを守ることにのみならず、日本再生への唯一の道でもあります。

次は、羽ノ浦町の三馬徳子さんをお願いします。

## 市民文芸

### 短歌

阿南市春季短歌大会選

#### 市長賞

水口 明美  
ふんわりと一本桜の影浮かべ  
水張りし田が花曇りする

#### 大会賞

小畑 定弘  
燃えた日のそんな昔を自分史  
の栞目にペンが追いつめてゆく

#### 文化振興賞

西崎まき子  
「TPP」の如何になるとも  
田植待つ苗の逞し煌めく葉先

#### 互選賞

金本ひろみ  
笛をつつみてくれし女の手の  
節の太さよ雨の朝市

#### 互選賞

井上 正恵  
寝て過ごす君のパジャマの格  
子柄春のおどりがそよ風に舞ふ

#### 入選

吉形 和恵  
雲の波に見えかくれして月の  
舟夢の半ばの続きを乗せて

#### 入選

島尾 妙  
はる あんな静かな色になり  
たいと花片の影なぞつている

#### 中学生短歌のポスト入選歌

原田 万葉

苦しみをチャンスに変えて踏  
んぼうう昨日の自分が見守つ  
てるよ

高鶴 真永  
人生の岐路に立つ日がやって  
来る十五の春を咲かせてみせ  
る

宮本 佳奈

ドアの外ぴたり耳をくつつ  
けてぬすみぎきする家庭訪問

古内 里奈

花が咲き新人生のまぶしさに  
「初心忘れじ」我が身に誓う

藤江 真子

春風が桜の花びら散らして  
く桜も人も旅立つていく

白 夕華

卒業式別れを告げて見送った  
その背中には希望が溢れる

宮本 真歩

新しい門出を祝う今日の日に  
降り注ぐよ桜の雨が

八木 邦広

春になり視野一面の桜かなこ  
れはまさしく千本桜

## 俳句

阿南市俳句連合会選

鎌矢美代女

母の日の一言添えし花言葉

田村 清朔

若葉雨砂防工事に川濁り

西岡 侃

緑摘む今日も狭庭に梯子かけ

三好美代子

聖五月森羅万象動きをり

近藤 匡恵  
走り根の雁字搦めを地虫出づ

中野 郁

無人駅縦横無尽夏燕

萩原 陽子

雨上がり山踊り出る若葉風

野中 久子

ここで生く早苗覚悟の真白き  
根

宮崎 三千代

網小屋は猫のすみかよ浜昼顔

奥田 久女

そら豆の青き匂いを剥きにけ  
り

田上 鶴子

似合っても似合わなくてもピ  
ンク系

武田 敏子

根性を据えて脂肪が居候

鈴木レイ子

海よりも深い藍染め娘のマフ  
ラー

林 満子

脳のしわ減って増える顔の  
皺

萩野ひとみ

雲海を眺めて登る神の山